

かとう たかし
加藤 孝士 KATOH Takashi

生活科学部 児童学科 講師
教育・学生支援部 学生支援課 課長補佐（併任）
E-mail：t-katoh@shikoku-u.ac.jp
TEL：088-665-9794



| PROFILE 研究者略歴 | DATA 主な業績 |
|--|--|
| <p>■生年月 1981年10月</p> <p>■学位 修士（教育学）（鳴門教育大学/2006）</p> <p>■学歴 比治山大学 現代文化学部コミュニケーション学科(現,社会臨床心理学科)卒業(2004.3) 鳴門教育大学大学院学校教育研究科学校教育専攻幼年発達支援コース修了(2006.3)</p> <p>■主な職歴 東京福祉保育専門学校専任教員(発達心理学,教育心理学,保育の心理学等)(2008.4) 東京福祉大学非常勤講師(発達心理学,保育の心理学,児童心理学等)(2008.4) 四国大学生活科学部児童学科講師 (2012.4)</p> <p>■専門分野 発達心理学</p> <p>■現在の研究 内的作業モデル(成人愛着)の視点から、子育て支援、親育ち支援の研究をしています。具体的には、子育てによって、以前の内的作業モデルを更新させる可能性や、アタッチメントの世代間伝達を断ち切る可能を調査により探っています。 また、平成22年8月より、日本保育学会からの任命で、放射能災害下にある福島県下において、どのような保育が行われているのか、子どもにどのような影響が与えられているのかを調査・検討しています。</p> <p>■所属学会 日本発達心理学会、日本心理学会、日本教育心理学会、日本保育学会、日本小児保健協会等</p> <p>■担当授業科目 [学部] 発達心理学、発達心理学演習、保育の心理学、発達心理学実験実習 [研究科] 人間発達特論</p> | <p>■主な学会及び社会活動等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害時における保育問題検討委員会 放射能災害下における保育実践・発達研究部会委員（一般社団法人日本保育学会）（2011～2013） 2) 放射能災害にかかる保育問題検討委員会委員（一般社団法人日本保育学会）（2013～現在に至る） 3) 国内研究交流委員会委員（一般社団法人日本発達心理学会）（2013～現在に至る） <p>■主な研究論文・著書等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 養育者への重要な他者からのサポートと内的作業モデルの関連（単著、2007、発達心理学研究 日本発達心理学会） 2) 母親の主観的幸福感とソーシャル・サポートの関係―最も関わる人物からのサポート―（単著、2008、小児保健研究 日本小児保健協会） 3) 保育専攻短期大学生の保育者効力感と実習評価の関係―実習前の保育者効力感の高低の視点から―（共著、2008、応用教育心理学研究 日本応用教育心理学会） 4) やさしく学ぶ発達心理学―出逢いと別れの心理学―（共著、2011、ナカニシヤ出版） 5) 母親の主観的幸福感とソーシャル・サポートの関係―サポートネットワーク、及び関わる人数に着目して―（単著、2012、小児保健研究 日本小児保健協会） 6) 養育者の目標志向性が育児不安、育児充実感、及び主観的幸福感に与える影響―子育て目標志向性尺度の作成と検討（共著、2013、応用教育心理学研究、日本応用教育心理学会） |